

村のぱん屋・SUN だより

第2号



2006年 8月

NPO法人 村のぱん屋・SUN

〒871-0904

筑上郡上毛町安雲1番地1

TEL・FAX0979-72-1615

設立5周年を迎えて

NPO 法人村のぱん屋・SUN 副理事 上野美千代

村のぱん屋・SUN は地域の方々の暖かい見守りやお客様の励ましのおかげで4月25日、設立5周年を迎えることができました。

仕事をして自立したくても、社会のペースについていけないという利用者とのかわりの中で利用者と健常者が共に安心して働ける場所の必要性をますます感じました。今回の5周年記念イベント（4月23日・日曜日）を開催することにより、利用者も私たちも自信を持ち一段と成長できたように思います。これをエネルギーとし地域に少しでも貢献できるように努力します。今後ともご支援、ご協力をよろ

最近の主な出来事

2月 バレンタインチョコケーキ販売
1083個受注しまし

た！

4月 5周年記念イベント開催
〒ロ 福祉講演会開催

村のぱん屋・SUN で働いてる人

・利用者 10名 ・パート 4名
・ボランティア 10名 です。
平成18年 7月現在 登録者数

障害者自立支援法と村のぱん屋・SUN

村のぱん屋・SUN は今まで国の定める福祉施設の型に入っていないため、補助金もなくボランティアにはどうしても職員並みの労働力と能力が要求されてきました。

障害者自立支援法は、多くの方々に利用者負担など論議を生んでいます。しかし働く場の確保という考えを持ち続けた私たちにとっては 地域で暮らす事と働くことにウエイトを置いた制度には、「そうだよね」と思うところもあります。村のぱん屋・SUN は、就労の場としての内容を変えないで、障害者自立支援法の枠組みの(注1)就労継続支援雇用型に入ります。

これでやっと職員を配置できると思ったのもつかの間、細かくみていくとまた大変なことに気が付きました。仕事量の多さと補助金の額にです。とはいえ、ボランティアは今まで職員の肩代わりを引き受けていたのですから、いくらかは職員は職員として、ボランティアはボランティアとしての機能に近づけそうです。

注1 就労継続支援雇用型

民間の事業所で働くことが困難な人に、雇用契約に基づいた就労の機会を提供

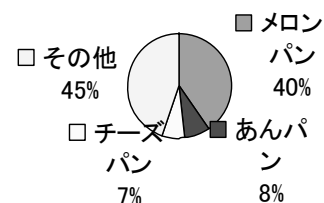
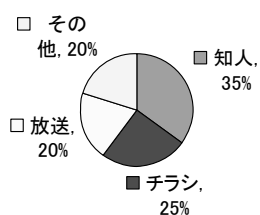
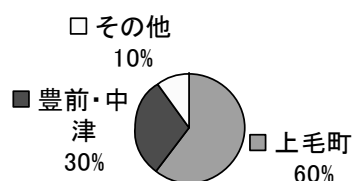
し支援することと共に、知識や能力の向上の為の訓練をする。

アンケート結果と感想

①どこから来ましたか？

②イベントを知ったのは？

③好きなパンは？



④ご意見・ご感想

- ・ 沢山のぱんが安くあり、味も良くて素晴らしいです。
- ・ これからもおいしいパンを作り続けてください
- ・ 頑張ってください。応援します。
- ・ とても居心地良く楽しめました。
- ・ ポスター等で知らせてください。
- ・ 喫茶コーナーが良かったです。こじんまりしていて、野菜、フリーマーケット、他の出し物も興味をもてた
- ・ ぱん作り体験が、子どもたちもとても喜びました。とてもいねいに指導して下さってありがとうございました。
- ・ 綿菓子が無料で子どもが大喜びでした。
- ・ イベントをまたしてほしい。

などなど・・・

激励やイベントで楽しめた様子などが書かれあって嬉しかったです。ご意見は、今後のぱん屋運営の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

— 受付スタッフ・末光 —

5周年記念イベント報告

4月23日 村のぱん屋・SUNにて5周年記念のイベントを行いました。店内ではパンの手作り体験隣の工房では交流喫茶店、外ではフリーマーケットなどを開き沢山の方々に参加して頂きました。

交流喫茶店 [あり・SUN]

利用者 1名 あぐり共同作業所 5名
ボランティア 5名 スタッフ 1名

カレー、おでん、コーヒー、ケーキなど8種類のメニューを出しました。練習と本番の違いなどに戸惑いながら、終わった時はみんな、達成感でいっぱいでした。反省する点も多いですが、日頃しないような経験が出来てよかったです。

— 喫茶店スタッフ・堀 —

フリーマーケット

参加数 19件 利用者 3名
ボランティア 2名 スタッフ 1名

掘りたての竹の子、朝一番の新鮮野菜、卵にバラの花。花の苗、キムチ、手作り小物、古着、木工、炭と、いろいろなものを出していただきました。無料の綿菓子には子ども達が行列を作るほど好評でした。

— フリーマーケットスタッフ・上野 —

手作りぱん体験

利用者 3名 スタッフ 2名

一人5個のパン生地を好きな形に作りました。カメパン、メロンパン、あんぱんが人気でしたが上手に創作パンを作る人もいました。今回、私の不手際でお客様を長い間お待たせしたり、焼きあがり時間を間違ったりしてご迷惑をおかけして、本当に申し訳ありませんでした。参加者は55名でした。

— 手作りぱん体験スタッフ・前田 —

ご協力いただいた皆様

あぐり共同作業所 上毛町社会福祉協議会
さくらんぼの会 地域生活支援センター鈴の家
地域生活支援センターみらい 豊前病院
森の学校共同作業所

福祉講演会

を行いました

7月22日（土）豊前の角田公民館にてあぐり共同作業所、地域生活支援センターみらいと共に福祉講演会を行いました。

「こころの病をもった人たちの切なる想いを受け止めて！」をテーマに精神科関連施設を利用している「当事者」を中心に1997年に結成された劇団「MAM」（＝make a more やろうぜの略）の方々の詩の朗読と北九州市熊手町クリニックの院長 吉本哲郎先生による講演が行われました。

詩の朗読ではMAMの方々が一語、一語ていねいに朗読され、聞いている私たちの心の中にしみこんでいくような、詩の世界に引き込まれていくような、そんなステージでした。

吉本先生の講演では「精神科関連の施設を利用している人々の活動を応援しよう。を題材に精神科疾患に人々が生きる為に、生活するために、「社会がもっと彼らを理解し、活動を応援しよう」「彼らこそ、魂と戦い自分と戦って生き抜いてきた素晴らしい人達である」「彼らは生きる為に治療を必要としている」と力強く話されました。

商品の紹介

現在、パン40種類、クッキー15種類を作っています。
毎回少しずつ紹介していきたいと思います。

あんぱん

当店人気のあんぱん。
時間をかけてていねいに
練り上げた自家製あんを
包み込みました。
甘さ控えめです

アーモンドクッキー

アーモンドが1つド～ン
とのった大きめのクッキ
ーです。
サクツとした、昔なつか
しの味となっています。

村のぱん屋・SUN会員賛助会員募集

趣意書	<p>すべての人々にとって、働くことは生活していく手段であると同時に、成長を遂げていく場でもあります。</p> <p>しかし、障がい者は働きたいのに受け入れてくれる所がない、受け入れられてもついていけないなど、多くの人が悩んできました。</p> <p>村のぱん屋・SUNでは、このような人達に働く場の提供をすること同時に、これまでの活動で得た経験をもとに、相談を受けたり地域との交流の場を広げるべく活動をしています。</p> <p>このような活動をしていくには、多くの方々の御協力なくては実現できません。</p> <p style="text-align: center;">御支援お願いいたします。</p>
目的	村のぱん屋・SUNの活動運営資金
会員	障がい者自立支援事業に対する活動を理解、賛同し、会費を納めた方を会員とします。
会費	<p>正会員…入会金1,000円 年会費3,000円 総会出席可</p> <p>賛助会員…年会費一口1,000円（何口でも可、年毎の変更も可）</p> <p>会費の納入には、下記の郵便振替口座を御利用ください。</p> <p style="text-align: center;">郵便振込先 口座番号：01780-112298</p> <p style="text-align: center;">加入者名：村のぱん屋・SUN</p>
<p>会員・賛助会員には、会報を送付します。</p>	

販売日（店舗）

水 木 金 土 曜日
 AM7:30～PM4:00
 （売り切れる場合もあります）
 お気軽にお立ち寄り下さい。

作業日

火曜日 7:00～16:00
 水木金土曜日 4:00～16:00
 日曜日 4:00～12:00



編集後記

5月から編集を始めた記事が日頃の忙しさにまぎれて遅くなってしまいました。
 反省！！
M. M.